

### 第 3 回グローバル COE 国際シンポジウム

## The 3rd International Sport Science Symposium on “Sport Sciences for the Promotion of Active Life”

柴田愛、宮本直和、時澤健、曹振波、中田大貴、宮下政司

Ai Shibata, Naokazu Miyamoto, Ken Tokizawa,

Zhen-Bo Cao, Hiroki Nakata, Masashi Miyashita

早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 7, 102-105, 2010年, 受付日:2010年10月13日, 受理日:2010年10月13日

2010年9月25日(土)、早稲田大学東伏見キャンパス79号館にて、早稲田大学スポーツ科学学術院グローバルCOE国際シンポジウム「The 3rd International Sport Science Symposium on “Sport Sciences for the Promotion of Active Life”」を開催した。このシンポジウムは、国際的に活躍できる若手研究者の育成および国際的に卓越した教育研究拠点の形成を図る重要な事業の一つと位置付け、定期的に開催しているものである。3回目を数える今回の国際シンポジウムでは、早稲田大学スポーツ科学学術院の提携校であるラフバラ大学(イギリス)Stuart Biddle教授をはじめとして、国内外よりスポーツ科学の各専門分野でご活躍されている4名の研究者をお招きした。

午前の部では、まず、開催にあたり早稲田大学スポーツ科学学術院グローバルCOEプログラム拠点リーダー彼末一之教授より開会の辞が述べられた。その後、特別講演および基調講演として、4名の招待講演者より幅広い観点から子どもの健全育成、中高年の健康増進、トップスポーツの振興に関する貴重なご講演を頂いた。

さらに、午後の部では、プロジェクトI(子どもの健全育成)およびプロジェクトII(中高年の健康増進)シンポジウムを開催し、各プロジェクト3名のシンポジストによる発表およびオープンフロアディスカッションが行われた。最後に、早稲田大学スポーツ科学学術院グローバルCOEプログラム登録学生および教員によるポスター発表も実施された。スポーツ科学の国際ネットワークの構築、今後の共同研究の実施、アクティブ・ライフの実現を目指した質の高い研究の推進を見据え、学生・教員にとって活発な討論の場となった。

### 1. 学術講演

講演者および講演内容は以下のとおりであった。(各々の発表内容は、別掲)

#### 【Special Lecture】

Strategic development of youth sports in Singapore: Impact of the Youth Olympic Games  
Sock M. Teo-Koh, PhD

Associate Professor, National Institute of Education, Nanyang Technological University,

Singapore

**【Keynote lecture I】**

30 minutes of exercise: what do you do for the other 23.5 hours? The role of sedentary behavior in an active life

Stuart J.H. Biddle, PhD

Professor, School of Sport, Exercise & Health Sciences, Loughborough University, UK

**【Keynote lecture II】**

Architecture and function of skeletal muscle in Japanese boys and girls

Fukunaga Tetsuo, PhD

President, National Institute of Fitness and Sports in Kanoya, Japan

**【Keynote lecture III】**

Posttranslational modification of proteins in aging: impact of exercise

Zsolt Radak, PhD

Professor, Semmelweis University, Hungary

**2. プロジェクトシンポジウム**

シンポジストおよび発表内容は以下のとおりであった(各々の発表内容は、別掲)。各シンポジストの発表後に行われたオープンフロアディスカッションでは、短時間であったのにもかかわらず、4名の招待講演者の先生方をはじめとして、多くの活発な討論が行われた。

**【Project I Symposium】**

Physical activity in young Japanese children

Chiaki Tanaka, PhD

Division of Integrated Sciences, J. F. Oberlin University, Japan

Sports Shokuiku for elementary and junior high-school students

Michiyo Kimura, PhD

Takasaki University of Health and Welfare, Japan

Modern medical problems in Japanese children and their causative factors

Suguru Torii, MD

Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Japan

**【Project II Symposium】**

Contribution of Cardiorespiratory Fitness and Peroxisome Proliferator-Activated Receptor- $\gamma$ 2 Genotypes to the Metabolic Syndrome in Japanese Adults

Kiyoshi Sanada, PhD

College of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Japan,

Effective Exercise Programs among Frail Elderly: Establishing Community-based Long-Term Care Prevention Programs

Ai Shibata, PhD

Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Japan

Vasopressin V1a receptor polymorphism and adherence to long-term interval walking training in middle-aged and older people

Shizue Masuki, PhD, Hiroshi Nose, PhD, MD

Department of Sports Medical Sciences, Shinshu University



写真 1. 早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE 第 3 回国際シンポジウム終了後  
招待講演者の先生方を囲んで記念撮影

### 3. ポスター発表

今回の国際シンポジウムでは、2010 年度前期の研究成果発表の場とし、早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE プログラム登録学生および教員による、ポスター発表も実施された(各々の発表内容は、別掲)(写真2)。いずれの発表においても活発な討論が行われ、若手研究者である登録学生に発表と討論、交流の場を提供することとした本国際シンポジウムの目的は十分に達成された。ポスター発表終了後に行われた懇親会では、6名の最優秀ポスター賞が発表さ

れた。受賞した5名は、11月に上海で行われる上海体育学院との学術交流に登録学生代表として参加する予定である。最後に、彼末一之グローバル COE プログラム拠点リーダーは、「今回の成功に満足することなく、国内外で活躍できる高いレベルの研究者を目指して、今後も積極的に研究活動・学術交流に努めていってもらいたい」と語られた。早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE プログラムの国際シンポジウムが若手研究者同士の交流・情報交換の場としても今後ますます活用されていくことを期待する。



写真 2. 活発な議論が繰り広げられたポスター発表